

作成日：2018年02月01日

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等名称（製品名）	エアクレンス FC-HA200CH
会社名	日本ケムトレックス株式会社
住所	〒174-0043 東京都板橋区坂下 1-39-13 甲子ビル5F
電話番号	03-3430-1139
FAX番号	03-5761-5265
緊急連絡先電話番号	03-3430-1139
推奨用途及び使用上の制限	消臭剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
その他の有害性	区分外／分類できない
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

単一物質または混合物の区分	混合物
化学式または一般名	無機塩類、グアジソン系化合物、ノニオン系界面活性剤（浸透剤） pH調整剤、純水

成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）

成分	重量%	CAS No.	官報公示整理番号
無機塩類	15～17	非公開	非公開
グアニジン系化合物		非公開	非公開
pH調整剤		非公開	非公開
ニオン系界面活性剤	0.3 以下	非公開	7-97
純水	82-84	7732-18-5	—

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し充分にうがいをさせる。症状があるときは医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	速やかに水、石鹼で洗い流し、異常があれば医師に相談する。
目に入った場合	速やかに清浄な水で15分間以上洗眼する。刺激などの異常が認められる場合には、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	水でうがいをする。多量に飲み込んだ場合は、水をのませ吐かせるなどの処置をし、異常があれば医師に相談する。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

この製品自体は、燃焼しない。

消火剤	水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	情報なし
特定の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散廃して冷却する。
消火を行なう者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具（防護マスク・化学防護服・手袋・眼鏡・長靴等）を必ず着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ミスト、蒸気を吸入しな

	いようにする。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	床面などにこぼれた場合は、直ちに拭き取り、空容器に回収し、廃棄する。
二次災害の防止策	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与える、または引きずるなどの取り扱いをしてはならない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手洗い、洗顔、うがいなどを行うこと。
局所排気・全体換気	取扱いは換気の良いところで行う。 換気の悪いところでは局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用させる。

保管

技術的対策	容器を密閉して換気の良いところで貯蔵する。
適切な保管条件	直射日光を避け、5℃以上 40℃以下の冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	密閉式の破損しない容器に保管することが望ましい。

8. 暴露防止措置及び保護措置

管理濃度、許容濃度	データ無し
設備対策	屋内作業場での使用時は、発生源を密閉する設備、又は局所排気装置を設ける。
保護具：	
呼吸器の保護具	保護マスクを使用する。
手の保護具	保護手袋を使用する。
目の保護具	安全ゴーグル型保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	保護前掛け、保護長靴、保護衣などを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	無色～淡黄色透明液体
臭い	微臭
pH	6.5 ± 1.0 (25℃)
融点	情報なし
沸点	情報なし

引火点	情報なし
発火点	情報なし
爆発限界	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	1.114 ± 0.050 (25°C)
溶解性	水に易溶
オクタノール／水分配系数	情報なし
その他のデータ	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件では安定。
危険有害反応の可能性	通常の取り扱いにおいては危険な分解や重合は生じない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	窒素酸化物、炭素酸化物、硫酸酸化物、リン酸化物

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（吸入・蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入・粉塵・ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	情報なし
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
------	------

残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	「産業廃棄物の処理及び製造に関する法律」に従い、事業者の責任で産業廃棄物として処分しなければならない。
汚染容器及び包装	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国際分類	非該当
国連番号	非該当
海上規制情報	非該当
航空規制情報	非該当
海洋汚染物質	非該当

国内規制

陸上輸送	非該当
海上輸送	非該当
航空輸送	非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に洩れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

直射日光を避ける。

漏出時は“漏出時の措置”の項を参照のこと。

15. 適用法令

消防法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
船舶安全法	非該当

航空法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

16. その他の情報

文献

各法令集、その他

ここに示す情報は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて誠意を持って作成しておりますが、記載のデータや評価に関していかなる保証をなすものではありません。また新しい知見に基づいて改訂される場合があります。全ての化学物質には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者の各位の責任において、安全な使用条件を設定下さいますようお願い致します。また特別な取り扱いをされる場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願い致します。